

1. 開催日時：2018年3月26日（月）10：00～12：00
2. 開催場所：連合事務局会議室（〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル）
3. 出席委員：会長 川幡穂高（東京大学）  
学協会長会議議長 齋藤文紀（島根大学）  
次期セクションプレジデント  
宇宙惑星科学 高橋幸弘（北海道大学）  
大気水圏科学 蒲生俊敬（東京大学）  
地球人間圏科学 奥村晃史（広島大学）  
固体地球科学 大谷栄治（東北大学）  
地球生命科学 遠藤一佳（東京大学）  
(敬称略)

#### 4. 議事

開始予定時刻となったため、議長が議長席に着き、会議の開始を宣言した。以下議事に入った。

##### 議事1. 関連規則の確認

定款、役員候補者推薦委員会規則、理事候補者選挙規則および理事候補者実施細則等、関連規則を確認した。

##### 議事2. 理事候補の選出

選挙管理委員会より提出された理事候補者選挙の選挙結果を元に、理事候補者を選出した。選挙結果によれば17位から20位の候補者が得票同数、また21位22位の候補者が得票同数となるが、理事候補者選挙実施細則第6条に基づいてそれぞれ年齢の若い者から順に上位とし順位が確定されることを確認した。

「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第五条十一および定款第16条に定められた、他の同一の団体の理事又は使用人である者についての確認を行った。選挙結果上位20名のうち東京大学所属の候補は7名である。このうち得票数が少ない19位の候補者を候補リストから除外した。次点である21位の候補者を検討し、理事候補としてふさわしい候補でありまた他に規則・バランス等に支障がないことから、候補者とした。

候補者の登録区分についても確認した。(候補者上位20名登録区分：宇宙惑星科学4名、大気水圏科学3名、固体地球科学8名、地球人間圏2名、地球生命科学2名、地球惑星学総合1名)

候補者のジェンダーについても確認し、現在の理事における女性数と同数である3名が候補者リスト含まれていることを確認した。

以上のように選挙結果の上位20名を候補者とするに問題がないことを確認した。したがって、別紙資料の通り、理事候補者選挙結果の上位20名を理事候補者として定時社員総会へ提出することを全会一致で承認した。

### 議事 3. 監事候補の選出

継続性を考え、現監事を中心に推薦することとした。ただし北里監事は事前に継続就任を辞退する連絡があったため、新規に1名を選考した。過去の役員経験者、セクションプレジデント経験者等から学識・経験を踏まえ複数名を検討したが、加藤照之氏を推薦することを全会一致で承認した。したがって、継続候補2名（鈴木善和監事、氷見山幸夫監事）と合わせて3名を監事候補者として定時社員総会へ提出することを全会一致で承認した。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(12時00分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成した。

以上

参考：

理事候補者選挙実施細則

(順位の決定)

第6条 選挙の結果、得票の多い者から順位を付け、得票同数の場合は、年齢の若い者を上位とする。

公益社団法人日本地球惑星科学連合定款

(役員を選任) 第16条

2 他の同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある者(公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行令第5条各号に掲げられた者をいう。)である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律

(公益認定の基準)

第五条十一 他の同一の団体(公益法人又はこれに準ずるものとして政令で定めるものを除く。)の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして政令で定める者である理事の合計数が理事の総数の三分の一を超えないものであること。監事についても、同様とする。